

事業概要

事業名	秋間梅林環境整備事業
事業期間	R5-R7年度
事業タイプ	地方創生推進タイプ
事業類型	横展開型
事業分野	観光分野

目的	○秋間梅林のリピーター層を獲得する
	○秋間梅林が自らが「稼ぐ力」を強化する
	○周辺地域も含めた長期滞在化・観光入込客数の増加につなげる

KPI	①秋間梅林の観光入込客数
	②新規体験コンテンツの開発件数
	③新メニュー・新商品開発数
	④安中市観光消費額

要素事業	○認知度向上に向けた広報宣伝費
	○付加価値向上・販路拡大に向けたプロモーション
	○体験コンテンツ調査・開発
	○受入環境整備事業
	○イベント開催（マルシェやキャンプイベント等）の企画、運営費
	○体験コンテンツ関連
	○顧客への定期的なマーケティング調査事業
	○ 広報宣伝・商品開発

事業費

(単位：千円)

年度	計画			実績			備考
	事業費	国交付金	地方負担	事業費	国交付金	地方負担	
R5年度	18,722	9,361	9,361	16,830	8,415	8,415	
R6年度	34,200	17,100	17,100				
R7年度	9,400	4,700	4,700				
計	62,322	31,161	31,161	16,830	8,415	8,415	

KPIの状況

KPI	単位	指標	目標 実績	開始前	1年目	2年目	3年目	KPI 増加累計
				R4実績	R5年度	R6年度	R7年度	
①秋間梅林の 観光入込客数	人	累計型	目標		15,000	15,000	15,000	45,000
			実績	40,000	16,028			16,028
②新規体験コ ンテンツの開 発件数	体験	累計型	目標		5	5	5	15
			実績	20	3			3
③新メ ニュー・新商 品開発数	個	累計型	目標		3	3	3	9
			実績	0	9			9
④安中市観光 消費額	千円	累計型	目標		100,000	100,000	100,000	300,000
			実績	510,000	711,786			711,786

効果検証

自己点検（KPIの状況等を踏まえた事業の見直し内容・考え方）

SNS有料広告は初の試みであるが、広告の展開とフォロワーの伸長に相関性がうかがえた。一般人の視点で秋間梅林そのものには魅力があると判断でき、認知向上施策がファン増加に直結すると推測できる。しかし、広告費を常時確保することは困難である。今後は各種オウンドメディア間の回遊性を高め、コストパフォーマンスが高い発信施策等との相乗効果によってファン数増加を図る仕組みを構築したい。PR動画は、秋間梅林の認知向上（目的）のために行う施策（手段）に活用する素材（ツール）であるため、目的と手段を明確化した上で、地域ブランディングへの影響等も意識して、より効果的かつ鮮度の高い動画の制作・発信を少しずつ増やしていくことが望ましいと考える。

「梅農家体験」「レンタルウェア」「秋間梅林祭での体験」の3種類は今後の発信次第で需要拡大を見込めると考えられる。また、「磯部温泉街での体験」は、地域事業者や住民からの賛同を予想以上に得られる結果となった一方、実施主体側としては継続する場合には利用する空き家の衛生環境や、厳密な費用対効果の算出が必要と考える。あるいは、採算を考慮しないイベントの位置づけであれば今後も継続可能であろう。

外部組織による検証

組織名	行政改革審議会委員
検証時期	R6.6.7（金）
評価結果等	<p>行政改革審議会委員より他市で昨年度よりも梅の生産量が減少していると聞いているが、安中市の生産量は減少しているのかという質問があった。秋間梅林でも冬の天候不順により梅の生産量は少なく、例年であれば7月頃まで収穫をするところだが、今年は6月下旬頃までにはほとんど収穫を終えてしまうと説明した。</p> <p>また、販売している商品に「群馬県安中市の梅」ときちんと宣伝しているのか質問があった。梅林農家の多くがJAに出荷しているため、今までは市内でも直接農家から買う以外に秋間梅林の梅を買うことが難しかったが、現在は市内の「まゆっ娘」「食の駅」「JAファーマーズ」で青梅の購入ができ、観光機構や「野尻の里」では梅の加工品が購入できるようになったが、より一層宣伝していきたいと説明した。</p> <p>また、JRに協力をしてもらい、電車内で広報等してもらうのが良いのではないかとの意見もあった。電車内や駅構内の広告は有料広告なので、検討していきたいと答えた。</p>

外部組織による検証	
組織名	決算特別委員会（安中市市議会議員）
検証時期	R6.9.11（水）
評価結果等	<p>決算特別委員会で本市市議会議員より「秋間梅林環境整備事業」の内訳について質問があった。秋間梅林休憩所用地測量業務委託料として484,000円、秋間梅林休憩所新築設計業務委託として1,947,000円、秋間梅林環境整備事業委託8,890,000円の合計11,321,000円と説明した。</p> <p>また、「秋間梅林活性化協議会」へ委託した事業内容について質問があった。認知度向上プロモーションとしてSNSによる発信強化やPR動画の作成、商品開発・流通構築としてプロの料理人と連携し梅を使った新メニューの開発や都内カフェやECサイトでのテストマーケティング、その他に新たな体験コンテンツの構築を実施したと説明した。</p> <p>さらに、秋間梅林休憩所が建て替えにならなかった理由について質問があった。休憩所については、デジ田交付金の申請のタイミングにより設計後にデジ田と補正予算の申請を行う予定（当初建築費5,000万円、デジ田交付金で1/2の2,500万円、市単費で2,500万円程度を予定）でしたが、設計をしたところ建築費が1億円を超えてしまい秋間梅林観光協会と協議し見送りと説明した。</p>

経費内訳 令和5年度（実績）

（単位：千円）

要素事業		事業費
1	認知度向上に向けた広報宣伝費	1,003
	○認知度向上に向けた広報宣伝費 委託費	1,003
	・ SNS発信	
	・ PR動画制作	
	・ PR動画配信	
2	付加価値向上・販路拡大に向けたプロモーション	5,777
	○付加価値向上・販路拡大に向けたプロモーション 委託費	5,777
	・ 商品開発に向けた事前準備費用	
	・ 開発体制構築費用	
	・ 商品開発費用	
	・ テストマーケティング調査費	
	・ 商品及び市場分析調査費	
	・ 販路開拓支援費用	
	・ 流通構築支援費用	
3	体験コンテンツ調査・開発	2,042
	○体験コンテンツ調査・開発 委託費	2,042
	・ コンテンツ開発に向けた事前調査費用	
	・ 開発体制構築費用	
	・ 商品開発費用	
	・ モニターツアー実施	
	・ 商品及び市場分析調査費	
	・ 販路開拓支援費用	
	・ 流通及び流入経路の構築支援費	
	・ SNS及びWeb広告費用	
4	受入環境整備事業	8,008
	○受入環境整備事業 工事費	8,008
	・ 秋間梅林看板等設置・改修工事	
計		16,830